

くまもと障害者労働センター &
あきた共同作業所 通信
1995年11月号

ウィズ（共に）

With

〒862
熊本県熊本市保田窪本町5-29
TEL・FAX共通
096-382-0861

くまもと障害者労働センター10周年記念企画

東俊裕弁護士「法律から見た今日の障害者問題」

ハートフル講演会

アットホームな雰囲気で開催

11月12日（日）に熊本市大江市民センターにおいて、東弁護士さんの講演会を労働センター主催で開催しました。労働センターは今年10周年を迎え、記念行事としてハートフル講演会を企画し、東俊裕弁護士さんに講演を依頼したわけです。

午前10時過ぎに大江市民センターに着き、みんなでそれぞれ準備に取りかかりました。僕はお客さんが何人来ってくれるか心配になりました。1時になって講演会が始まり、後ろから何人入ったか数えてみたら40～50人の間でした。「まあまあかなあー」と思いホッとしました。

「法律から見た今日の障害者問題」と題する講演では、まずアメリカの障害者問題に対する取り組みについて話をされました。アメリカにはADAという障害者への差別を禁ずる法律があり、障害者が「差別」があったと思ったら、訴えることができ、法律によって判定されて罰則が下るそうです。しかし日本にも障害者に関する法律があるのだけど、障害者を保護するための法律で、ちょっと違うところを話をされました。次に障害者の労働時間についてと次々に具体的な話に進んでいきましたが、分かる部分と分からなかった部分があり複雑でしたけど、分からない部分については、後で質問者が多すぎたので質問しませんでした。あとは東さんが



なぜ弁護士になったかを話をされました。いろいろ大変だったんだなあーと思いました。全て話が終わって質問にはいりました。生活保護の事についてとかさまざまな質問があつて良かったと思いました。

僕のもう一つの仕事は、販売でした。1万ちょっと売り上げました。そこそこかなあーと思いました。

東さん、聞きにこられた方、手伝って下さった方、ご協力ありがとうございました。又、メンバーのみなさんおつかれさまでした。

K・O

講演会の準備や進行など
ご苦労様でした。

友達と一緒に大学の法学部を目指しているので、弁護士さんのお話を聞きたいと思い参加しました。福祉問題について自分たちが考えていた視点とは別の視点で問題を考えていくことができて、とても勉強になりました。来て良かったです。ありがとうございました。将来、社会を改善していくリーダーは私達でしょう。

障害者も健常者も同じ人権を持つと思いますのに、法的にも障害者は差別されていることがわかりました。いろいろな視点から生活を見直していかなければ健常者ですら住みづらい世の中が出来ると思います。共に頑張りましょう。

アンケートから

東弁護士と私達の席が近かったので、とてもアットホームで、雰囲気良かったです。



忘年会のご案内

今年も早いものであつかわずかになりました。そこで日頃お世話になっている方達に感謝の意を表するとともに、交流もかねて忘年会を計画しています。どうぞご参加のほどよろしくお願いいたします。

日付 12月9日(土)

時間 19:00~21:00まで

場所 労働センター内

会費 1000円+一品持ち込み

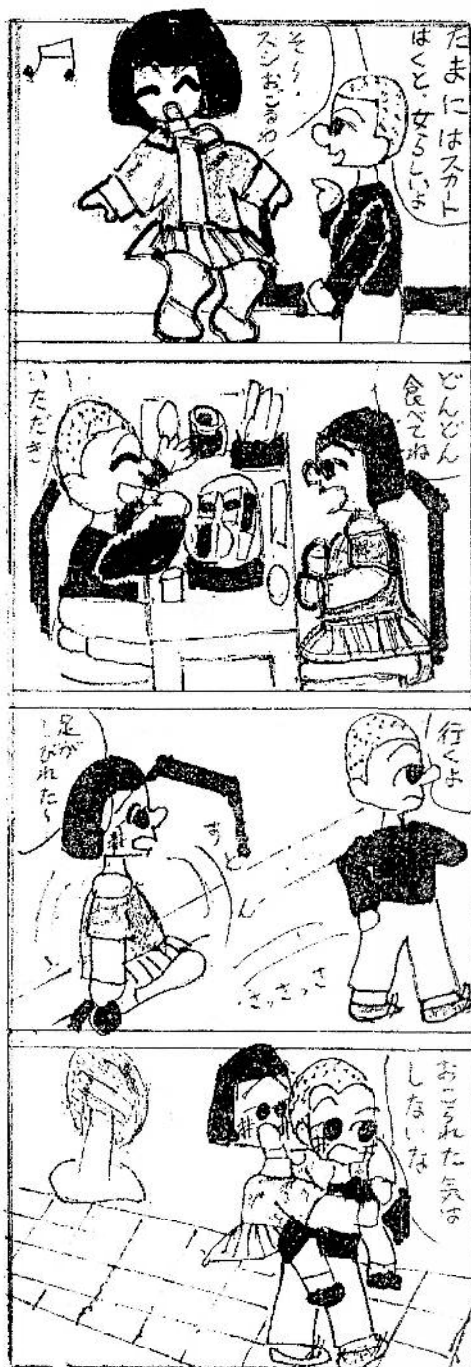
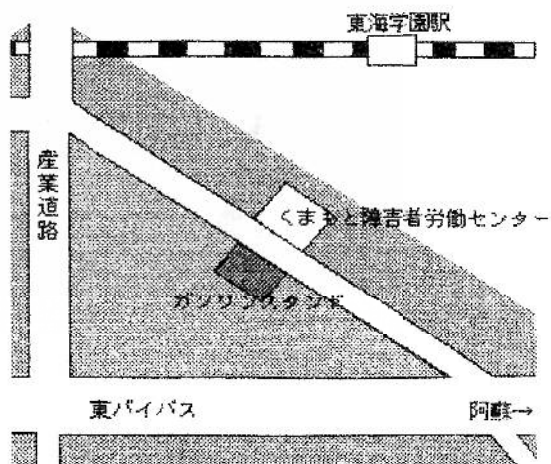
(1)オークション

家庭でいらなくなった物がありましたら、何でも構いませんので労働センターまでに持ち込んでいただきたいと思います。持ち込みは、当日までに宜しく願います。

(2)当日手伝い

当日の会場作り、料理作りなどを手伝ってくれる方を募集します。

参加者は、「12月6日(水)」までに連絡をお願いします。



10月13日矢部に行って

朝の9時ぐらいにバック連の小山さんと「武蔵みらい21明日をひらく会」の今村会長さんと三人で、矢部町中央公民館にバック連で紙すき実演に行きました。

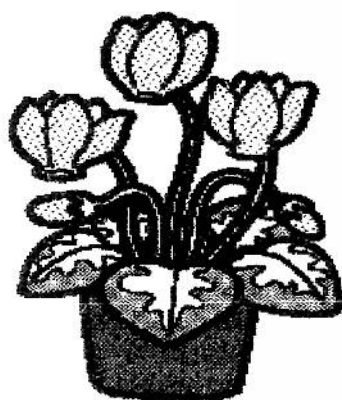
その前にちょっと時間があつたので小山さんと会長さんと三人で県庁の職員労働組合に挨拶にいきました。そこで頂いたコーヒーが美味しかったです。矢部に1時につけばよかったので県庁でゆっくりして矢部に向かいました。車の中で小山さんといろいろしゃべりながら行きました。1時ごろ矢部についてまず通潤橋に行きました。そして通潤橋の放水が出ていたので見ていたら、石につまずいてこけてしまい足を捻挫してしまいました。最初は少し痛いだけでしたけど後からだんだん腫れてきました。でも放水の出てる上でこけなくてよかったと思いました。もし放水の流れてる所だったら死んでたかもしれません。本当は上まで上がるつもりでいたんですけど、私がこけたので上がれなかったのが残念でした。そしてその後写真を撮ってもらいました。交替で写真を写しあいました。

それから中央公民館に行きました。小山さんがまず挨拶をして次に私が自己紹介と挨拶をしました。小山さんが老人大学の生徒さんと紙すき実演をされました。私はセンターの販売の準備をしました。皆さん結構品物を見て買ってさいました。「小物入れは牛乳パックですか」と聞かれたので「はい」と言ったら「上手に作ってありますネ」と感心されてました。「あなたが作ってるの」と聞かれたので「いいえボランティアの方に作って頂いてます」といったら「凄いですネ」と言われました。皆さん紙すきを一生懸命されてました。紙すきセットも10コ持って行って6コ売れました。ほかにリサイクルノートとハガキが売れました。小山さんが箸おきの作り方を教えられてたので私も横で聞いてました。皆さん紙すきにも関心があつていい人ばかりでした。帰りには矢部のお茶まで持たせて下さいました。

2時頃片付けをしていたら「お茶をのんで帰って下さい」といわれたのでお茶を頂いて矢部の作業所「せんだき工房」を見学させて頂きました。そこでは廃油で石鹸を作る所を見せられました。そちらでもまた石鹸を頂きました。どうもお世話になりました。

販売の売り上げは8900円でした。ご協力ありがとうございました。

野口美枝子



県同教大会 in 本渡

10月21日と22日に本渡で、県同教大会が行われました。それで労働センターからも、7人で参加しました。朝7時すぎにセンターを出発しましたが、途中から道が混雑してなかなか進まなかったのが先が思いやられましたが、無事に会場に着きました。会場だった中学校は、新しく障害者用トイレもスロープもあって良かったけど、トイレは私には使いにくかったです。

1日目の午前中は全体会と、記念講演があり、午後からは「障害」児分科会の会場で販売しました。分科会が終わってホテルに向かいました。私達は天草プリンスホテルに泊まりました。だけど、エレベーターは狭いし、身障者用トイレはないし、大浴場は階段だったし全然バリアフリーになってなくて、野口さんと松井さんにとっても気の毒でした。久島さんと野口さんと市瀬さんと村田先生と5人で、近くのカラオケボックスにいきました。とても盛り上がって楽しかったです。

2日目も分科会と全体会に分かれて販売して、売上は8万ぐらいいました。でも泊まりがけだったので疲れました。

吉村春美

宇土市立網田中学校の今村邦予養護教諭は、知的障害児のいる小学校に勤務していた時のことを報告した。

体育の時間にある障害児が、同じクラスの生徒から「ちゃんと五周走ったね？」と聞かれていた場面を取り上げ、「『みんなきついけどがんばっている』と言うのは、がんばってもできない生徒を切り捨てていくことにつながってしまう。学校全体が忙しく、特に中学になると生徒たちは朝自習や部活動などで、時間に追われる。そのストレスをより弱い子に向けているのでは」と話した。

県同教大会
障害児分科会

学校に余裕も
給食の転換も
H7・11・6
熊本日日新聞

今村養護教諭は障害児と生活することで、「今まで健康は一つしかないと思いき、病気や障害は単純に克服した方がいいという一面だけの見方をしていたことが分かった」などと述べた。

今村養護教諭によると、保護者の間などで「障害児の世話を周りの子どもにさせたり、自宅に送らせるのはかわいそう」という声や、子どもからの「（世話をするの）きつい」という声もあったという。

障害児を担任したことがある小学教諭から、「世話は気づいた人がすることにしていたが、子どもたちに押し付けていた面もあったようだ」と反省の声もあった。

別の小学教師は「運動会などで『きちんと走らなければ』など、教師は『○○しなければ』と縛られている。もっと発想を転換させることが必要」と話した。

障害者の子どもがいる梅田伊津子さん（50）は「学校でしか健常者と交わる機会がない。知的障害者を知る機会が少なく、自分と同じ人間だと思える人はまだ少ないのでは。一緒に生活する中で、そうした思いはなくなっていく」と訴えた。

くまもと「障害者」労働センターで働いている久島雅樹さん（33）は障害者の立場から、「養護学校にしか行けないのはおかしいと思う。離れたところではなく、地域で仲間を多くつくっていくことが障害者の自立にもつながるのでは」と話した。

ぶらっときたよ

大阪「やなぎの里ぱびるす」紙すき交流会

大阪まで行ったとよ

10月13日と14日に大阪の「やなぎの里ぱびるす」で紙すき交流会がありました。労働センターからは市瀬と松井さんと村田さん3人が、紙すき研修に参加しました。私達は前日の夜から出発して夜行バスの中で寝ました。1日目の朝は5時45分には大阪の枚方駅についてまだ時間があったので枚方駅のロッカーに荷物を入れ京都の三条まで行って東映太秦映画村に行きました。

そしてお昼にはまた枚方駅に行き、それから「やなぎの里・ぱびるす」に行きました。パック連からは平井成子さんと和田志津子さんが紙すき交流会に来ていました。[ぱびるす]の人が何か質問はありませんかと皆に言われましたので、私は一つ質問を言いました。

夕方に交流会は終わったので、京都の中心山荘のホテルに移動しました。そのホテルは出来たばかりでいいホテルでした。私達の部屋の208号室は夜景がとってもきれいでした。夜2時間ほど交流会がありました。そのときビールを二杯も飲んだり、ごちそうをたべたり、和田さんやいろんな人たちと話しをしまして、とても楽しいひとときを過ごしました。ただその晩に私はラジオをつけっぱなしにして寝てしまいました。

次の日は朝の6時半に起きて荷物とかの用意をして[ぱびるす]に行きました。お昼には紙すき研修が終わったので枚方駅に行って、まだ夜まで時間があったので図書館に行ったり、お土産を買いに行ったりして21時40分の夜行バスに乗り、次の日の朝熊本に着きました。

[ぱびるす]のみなさん2日間お世話になりました。ありがとうございました。

市瀬めぐみ



ローラーで水分を押し出す

見ると「やる」とは大違い

「ばびるす」に着いて、私が興味をそそられたのは、その真新しい鉄筋コンクリートの建物だった。そのあと間もなくわかったことは、25億円の費用がかかったということ、「親の会」がお金を出したらしいということ。では、そんなに構成員が多いとも思えない小さな団体で、その金額をどうやって調達したのか。行政の補助を受けたのか。話を聞いたり作業を見学したりしながら、そのことが頭の隅から離れなかった。

紙すきの工程は、私達のとは規模も違うが、掃除機で水分を吸い取る場所など、新参者の私には思いもつかないアイデアがみられ珍しかった。お手製のミキサー、浴槽を使った紙すき桶など、設備投資を安くあげる実際面の一方、自分たちの手で作り上げるんだという意気込みが感じられる。一晩ベニヤ板に貼り付けたまま自然乾燥し、ヒートローラーで一瞬にして伸すやり方は経済的で納得、しかし安全装置をつけないとこわい。



パルプのラミネートはぎ

2日目は、最初に実習。市瀬さんが積極的に紙すきに挑戦する。真剣な表情が頼もしい。私は何もせず後ろに引っ込んでいたところ、松井さんに見つかり、させてもらうことになった。10枚のハガキが一度にすける型枠を紙すき液から取り出す一瞬の、ごぼっという重い手応えを楽しんだ。三人ともすべての工程を実際にやってみたわけだが、やはり、やってみて初めてわかることは多い。私はモタモタしたうえ、不織布の処理がまずくて、紙の表面をしわしわにしたのは情けなかった。

最後におもに運営について質疑応答が行われた。彼らは販路拡大が順調にいった様子。センターの紙すきにとって、それはやはり現実的な課題である。メンバーのリーダーの、自信に輝いて事業拡大の夢を語る姿を見て、それまで紙すきの手伝いさえしてればいいと思っていた私も、もう少し責任ある立場に立って労働センターに関わるべきではないかという気がしてきた。



ベニヤ板に紙を貼り付ける

人間の生き方という問題も含めて、教えられることの多い有意義な研修だった。（市瀬さんが張り切って実習に取り組む姿を写真に撮りそこなったのが、ただ一つ残念だったけれど。）

こういう機会を与えてくれたセンターのみなさんと松井さんに、感謝します。

村田

紙すきで自立をめざす〔はびるす〕

松井

大阪府枚方市郊外の小高い丘の中腹に、まだ新しい小さな2階建てのビルが見えてきました。ここが、社会福祉法人「やなぎの里」の授産施設〔はびるす〕です。10月13日・14日、パック連(全国牛乳パックの再利用を考える連絡会)の主催で行われた「手すきハガキの技術交流と流通システムを考える作業所交流会」に、私たち3名も参加しました。



洗濯機でパックのラミネートを取る

〔はびるす〕の紙すきの姿勢は、“商品として売れるハガキをつくり、紙すきで職業的自立をめざします”とはっきりしています。

そのために、誰がやっても同じ質のものが量産できるよう作業のやり方を細かくきめています。

例えば、パルプ液は枠に流し込むのではなく、10枚組の枠をバスタブにはったパルプ液につけ込んで漉きあげるのですが、水をこの線まではって、パルプ原液をひしゃくで5杯、これで5回漉き、毎回枠をつけ込む深さはここまで、というようにマクドナルド並にマニュアル化されています。

また、効率をあげるために工夫された小さな器械類がとてもユニークです。ミキサーは、家庭用ではとても間に合わず、大きなポリバケツにモーターと羽根をとりつけたもので、これを一晩中まわして朝から漉けるようにしているそうです。仕上げも一日1000枚漉くこともあるそうですからアイロンでは追いつきません。それで熱で乾かすのではなく、掃除機で水分を吸い取って1日自然乾燥させ、ヒートローラーという機械を通してパリッとしあげる方法をとっています。

私たちもそのいくつかは試みたことがあるのですが、途中でつまずいてこれはダメだとあきらめていました。〔はびるす〕は、そういうつまずきを“あ、なるほど!”と感心する発想の転換でみごと解決していました。そして、決して高価な機械力でもなく手に入るものを利用して、使いこなしています。参加者も説明を聞いていると、おもしろくなって、ここはこうしてみたらどうだろうなどと、紙すきにのめり込んでしまいそうです。紙すきの魅



一度に10枚ハガキがすける木枠

力はなるほど、この「誰にでも手のとどくりサイクル技術」にあるのだな、と改めて思いました。

もう一つつけ加えるならば、紙すきの技術以上にいいなあと思ったのは、ここの人間関係



ローラーで水分を押し出す

な販路は、独自開拓と同時にバック連を窓口
ネットワーク化が進みつつあるそうです。

最後に、所長さんの挨拶を紹介します。

「人がどういう生き方をしたいか、多くの選択肢
の中から自分で選べるという幸せは大切なこと
です。障害を持っている人は、その選択肢が非常
に少ないのが現状です。

「[ばびるす]は、紙すきをもっとしやすくするため
に社会福祉法人化しましたが、法人化してみると
いろいろとやりにくい点ができました。それならば自分たちの手で会社をつくり紙すきを事
業化しようという話が持ち上がっています。もちろん一般就労していく人もいますが、事
業化もまた選択肢の一つをつくることだと思います。そして、ここまでやってこれたという自信の上
に、こういう夢を語れるようになったことが重要だ
と思います。



ヒートローラーで最後の仕上げ

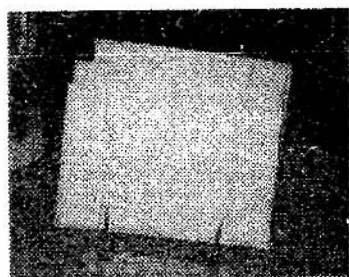
考え直されていい時期だと思うし、経済的自立への道も
もっと追求していかなければならないと思います。」

心配



バキュームで水分を吸い取る

ここでは皆、「さん」付けで呼びあいます。年下
の職員を年
上のメンバー
が「先生」と呼
ぶような福祉
の世界のお
かしな習慣も



ベニヤに貼り付けて一晩自然乾燥

一甲宣男先生講演より

先生と言われて40年（4）

板見さんの機能回復訓練はお母さんによるものと、子どもたちとの触れ合いによる刺激が中心だったように思います。たとえばこんな事がありました。私が板見さんを抱っこしていると、子どもたちがいじめみたいして手をだしてくるんです。大きい子が三つくらい小さい子の帽子とか取りあげて、「ほらほら取ってみー」とか高く持ち上げて言うと、「何するね」と伸び上がって取ろうとしますね。そんな感じのことを板見さんにするんですよ。すると板見さんは「何するね」と言って、動かない手を何とか動かそうとする。上野さんは「刺激」と書いてますけど、そういう刺激が同じ子ども同士だったら一層強く反応します。先生が「しなさい、手を出しなさい、鉛筆を握りなさい」というのではなく、同じ子ども同士のつながりの中で刺激を受けるということが非常に大事なことでないだろうかと思います。

野口さんのこと

野口さんは板見さんと同じ私のクラスでした。誰とも話さず、クラスではいつも黙っていました。

4年生のときです。このクラスには学年で1番ワンパク坊主の山田君（仮名）がいました。自分の意のままにならぬやつがいると先生のいないところへ連れだしてぶん殴るのでみんなから恐れられていました。この山田君が、何もしていない野口さんをいきなりぶん殴ったのです。

その様子を何人も見ていたのですが、みんなただ黙っていました。

「やめなさい、野口さんは何もしたらんとに、どうして、そぎゃん叩かにゃんとね」と言ったのは板見さんだったのです。

「うるしゃー、なんかおもえは！あるけんくせに・・・生意気言うな！」

山田君は板見さんの髪の毛をぐいと引っ張って、教室を出て行ったそうです。

そのあと板見さんは私に「先生、このままじゃ野口さんが可愛そうです。山田君を叱って下さい。」と話してくれました。

しかし私は「うん、そうか、よしよしいつか山田君に言うとかけん」と言うだけで、山田君には何も言いませんでした。もし、この事件を学級会で、全員で討議していたら野口さんの心はもっと早く開いていたかも知れません。

でも野口さんが変わってきたのはそれからでした。野口さんは私にはほとんど話してくれませんでしたし、友達とも話しませんでした。いつも黙っていたんです。ところがこの事件があったときから、板見さんだけには話すようになりました。

（先生の話しに野口さんは涙をハンカチでふく）

野口さんは今もって涙が出るように悔しい思いをしてきたと思いますよ。それに対して私は何もできなかったんですけど。



「クイック&デッド」

「氷の微笑」以来、“世界で最もセクシーな美女”と言われるシャロン・ストーン。

美しさは→強さ。強さは→勝利。すなわち、美しいものが勝つ!のだ。西部の町にクールな女ガンマンが登場する。ぞくぞくするほどセクシーでタフネス。その強さはひたすら、心に誓ってきた復讐を果たすためのもの。しかし、その相手は早撃ちでは右に出る者がいないという使い手。やるか!やられるか!命を賭けた戦いだ。新境地を開いたシャロンの早撃ちをとくにご覧あれ。監督/サム・ライミ

Let's go to the Movies! 11月下旬～

毎月1日は映画ファン感謝デー・劇場により 毎週金曜日のサービスデーあり

熊本東映 ☎356-7393	蔵/日本一短い「母」への手紙 11/23～
東宝プラザ ☎352-0952	休館 あなたが寝てる間に/サンタクロース 12/1～
オリオン座 ☎352-0953	クリムゾンタイド ～12/1 休館(12月中旬まで)
東宝1 ☎352-1718	バースディプレゼント ①12:20②2:30③4:40④6:50 ゴジラVSデストロイヤー 12/9～
東宝2 ☎352-1718	フレンチ・キス 11/18～
セントラル劇場 ☎353-4050	マディソン郡の橋 ①10:50②1:25③4:00④6:35
松竹セントラル ☎356-3100	クイック&デッド/バッド・ボーイズ～ 12/8 ゲレンデがとけるほど恋したい 12/9～
シネラックス1 ☎352-3592	スピーシーズ 11/23～
シネラックス2 ☎356-7904	鬼平犯科帖(中村吉右衛門 主演)

一期一会

たった一日だけの上映会

☆「小島の春」 主/夏川静江
11/20 ①AM10:10～②PM3:00～ 鶴屋

☆「多桑一父さん」
12/1 ①2:30～②6:30～ 鶴屋
・熊本映友会 ☎352-1433

☆「ダグラスの海賊」上映+
'95年度ベスト10選出会
12/18 ①3:00～②6:40～
産文会館 コーヒー付 ¥1,000
・夜の回はプレゼント抽選会あり
・キネコム ☎385-3512
・1926年度製作の総天然色映画

私の好きな映画 「クイック&デッド」

1000分の1秒を競うクイック・ドロー(早撃ち)。見事なガン・スピン。これぞ西部劇の醍醐味!それもそのはず、アーモラーをあの手・クリード(実弾での早撃ち世界一)が担当している。ガンマニアなら感涙、ガンマニアでなくても必見の西部劇。(熊本市/TEX)

映画肥後狂句
M.T.グマー
俺よりアホのおつたたい
・コンゴ
アドベンチャーに胸躍る
・蔵
ばってん強う生きた烈
・ブレイブハート
愛と自由の大叙事詩
☆京小町さんは、第十七回国民
文芸賞の「肥後狂句」部門で
入選されました。

・投稿募集中/招待券送呈/
FAX 385-3657 キネコムまで

10月の日報から

- 1日 リサイクルフェア「販売」
(辛島公園) 野口、吉村、市瀬、緒方
- 3日 ミニ講演会羽江氏
労働センター内で
- 8日 木の日「紙すき&販売」
野口、市瀬
- 12日 パック連会議
野口、吉村
- 13日 矢部で「紙すき&販売」野口
- 13日 - " "
紙すき研修(大阪)市瀬
- 14日 - " "
- 21日 第24回熊本県「同和」教育研究大会
(本渡市)「販売」
- 22日 - " "
「参加」野口、吉村、市瀬、緒方
- 29日 鹿本商高文化祭(販売)
野口、市瀬、吉村

編集後記

初霜のニュースが聞こえ。カレンダーやクリスマス人形を売ったり、年賀状印刷の注文などをとったりしています。

新たな展望を開くために行った大阪の紙すき研修。「ぱびるす」のようなやり方をするには設備投資という難問があります。東弁護士は自己決定という言葉 키워드として講演されましたが、センターも自己決定を迫られています。

「Withの会」にさっそく大勢の人に加わって頂きました。暖かい支援をバネにして頑張りたいと思います。

10月のパック回収から

1日	スーパーレットタニダー	130.9Kg
3日	岡田コーヒー	24.2Kg
	池田さん	1.8Kg
4日	村田さん	1.3Kg
5日	熊大生協	65.7Kg
	中島小学校	35.0Kg
6日	楠中学校	192.9Kg
	南ヶ丘小学校	63.0Kg
	合志小学校	48.9Kg
	合志南小学校	19.1Kg
	託麻西小学校	44.1Kg
	クスリのマツオ	23.8Kg
	桜木小学校	52.5Kg
	東町中学校	380.2Kg
	スナック島津	2.9Kg
9日	平島さん	0.2Kg
10日	ヤマギシ	58.0Kg
16日	ひかり幼稚園	33.5Kg
17日	小出さん	0.9Kg
18日	帯山小学校	22.2Kg
	西原小学校	91.0Kg
20日	キッチン岡田	22.0Kg
	個人	0.5Kg
	個人	1.3Kg
23日	月出小学校	90.9Kg
24日	若葉小学校	39.8Kg
	平島さん	0.1Kg
25日	あきた共同作業所	731.0Kg
30日	鹿本商工	10.3Kg
	平島さん	0.1Kg
	山ノ内小学校	42.2Kg
	岡田コーヒー	18.6Kg
10月のまとめ		
	共生社	6110.7Kg
	くまもと生協	386.1Kg